

令和7年 第10回 木古内町教育委員会 議事録

- ・ 開催日時 令和7年10月23日 9:30-10:30
 - ・ 場 所 木古内町公民館 講座室
 - ・ 出席委員 西山教育長、工藤嗣美、竹田光伸、古城美佳、手塚和宏
 - ・ 欠席委員 なし
 - ・ 事務局出席 ひとづくり未来課
中村課長、森山主幹、学校教育G寺井主査、社会教育G太田主査
 - ・ 傍聴者 1名
-

1. 開 会

木古内町教育委員会会議規則 第6条の規定により、西山教育長の宣言にて会議が開会され、進行も西山教育長がそのまま務めた。

(西山教育長から最近の報告・所感)

- ・ 教職員不祥事への対応
 - ・ 直近で発生した他校の盗撮事案・金銭問題等を受け、木古内町として服務規律の徹底・再発防止の指示を各校にお願いした。
 - ・ 人事関係
 - ・ 10月から次年度人事準備に着手。新任教員比率が高くバランス配慮が必要と考えている。
 - ・ 近々で校長人事面談を予定している。
 - ・ 行事・地域連携
 - ・ 町民文化祭：中学生の生徒ボランティアも貢献してくれた。一方で町民文化祭としてはサークル数減少が課題のため今後の在り方を検討していく。
 - ・ 中学校学校祭(10/3)実施。小学校学習発表会は今週土曜開催予定。
-

2. 署名委員指名

- ・ 今回議事録の署名委員について工藤嗣美委員を指名

承 認

3. 会議録の承認について

- 前回議事録の承認を諮り、委員からは異議なしの確認

会議録(令和7年 第9回)承認

4. 教育長諸報告

- 教育長公務・会議参加について

- 臨時教育長会議(盗撮・金銭問題等の共有)
- 合併・記念式典等各種公式行事出席(10/4～10/18)
- 移動教育委員会(道教委主催、14年ぶり函館開催):不登校、特別支援学級等の情報交換

承 認

5. 議 案

第1号:教育総合会議の議題について

- 年度内に1回開催(時期は年明けで調整中)
- 町長を交えた教育行政の大きな方向性を協議したい
- 議題の事務局案
 - 情報モラル教育の実施報告(小・中)
 - 町長施策の意見交換を主軸に
 - 委員からの意見
 - 町・教育委員会として大テーマを3点程度に整理し、町民の意見を得やすい形で提示を
 - 予算に関わる案件は開催時期を前倒し検討
 - 部活動地域移行、小中連携(義務教育学校含む)、学力調査、自殺統計への向き合い方などを論点に
 - 設備等の緊急性ある課題を優先すべき
 - その他
 - 小学校給食用エレベーターの老朽化:安全・バリアフリー対応(車椅子利用含む)の観点から予算化を要望

- ・複式学級移行について
 - ・学校・教育委員会・町の連携で保護者説明を実施済み。
 - ・保護者からの強い要望もあり町として単式学級を維持する方針。
 - ・人員配置(教員・支援員)の不足リスク。
 - ・町独自人件費の必要性や支援員増配置の検討。
- ・学力・言語環境・ICTに関する論点
 - ・英語・デジタル教育推進の前に、母国語力の向上が優先ではないか。
 - ・ゲーム・スマホ依存による学習・生活への影響への懸念。
 - ・全国学力結果も踏まえ、ICT活用が学力向上に資する可能性はあるが、町長の考え方多面的に整理が必要。

可決

6. 報告

第1号：社会教育における令和7年度上半期の事業報告について

- ・青少年教育
 - ・「無名塾」毎月1回(年12回計画)、7月まで7回実施
 - ・登録約40名(小3～中学生)
 - ・取組例：牛乳パック工作×流しそうめん(日本文化体験)、亀川探検(観光協会と連携した新アクティビティのプレ実施)、秋田県大館との交流(日帰りへ変更、熱中症リスク配慮)
- ・高齢者教育(60歳以上)
 - ・ごみ処理・リサイクル施設見学、キャンプ場(みそぎの丘)見学など地域理解を深める学習
- ・成人教育
 - ・資料館講座(11/15予定)：北海道埋蔵文化財の講演(資料館開館10年記念)
- ・芸術鑑賞

- ・ 小学校公演＋夜間公演(和心ブラザーズ)。子どもの関心喚起・発表会への波及効果を確認
- ・ 体育・青少年
 - ・ ジュニア水泳教室:地震に伴うプール休館で延期し8/20実施
 - ・ 大会支援:全道・全国出場に伴う旅費等を約200万円規模で補助
 - ・ 各種スポーツ大会(バドミントン、ソフトボール、バレーボール等)実施・準備
 - ・ 教育施設利用実績を共有

承認

第2号:臨時会に上程した補正予算について

- ・ 保健体育総務費 526,000円増
 - ・ 少年団バレーボールの道南ブロック大会(11/2-3)出場に伴う参加経費
 - ・ 勝ち上がり時は1月江別での全道大会対応として12月議会で追加補正の可能性

承認

第3号:安平町・早来学園の視察について

- ・ 小中連携・義務教育学校の検討
- ・ 視察報告:安平町・早来学園(9/29)
 - ・ 図書館の地域開放と学校施設の一体利用、顔認証による入退室管理
 - ・ ガラス張り家庭科室(カセットコンロ活用)、ワークショップ可能な設計
 - ・ 広い廊下・展示空間、学年に応じた環境(低学年は落ち着けるスペースと外扉、上級生はロック一制・教室持たず移動型)
 - ・ 体育館の一般開放、ランニングコースのアクセス、音楽室と可動壁で連結する小体育館(ピアノ運搬等不要の工夫)
 - ・ 震災復興のシンボルとして住民意見を取り入れ短期間で整備。
 - ・ 教育移住による人口増の効果も
- ・ 自町への示唆
 - ・ 現状二校体制の維持管理コスト(ボイラー故障の例など)負担が大
 - ・ 統合・一体運用の検討を急ぐ必要

- ・新築か既存施設改修かは別途検討
- ・顔認証等の運用改善は先行導入可能
- ・安平町のもう一地区(追分)でも統合の議論が進行
- ・住民合意形成と説明の重要性
- ・委員からの要望
 - ・部活動地域移行・小中連携のロードマップ明確化(年度内に方向性を示す)
 - ・住民説明・意見集約の段階設定(委員会内整理→教育委員会協議→町への提示→広く住民周知)

承 認

7. その他

- (1)令和7年度渡島教育委員会教育委員研修会の開催について
 - ・令和7年11月10日(月)八雲町立図書館
 - ・工藤委員、竹田委員 出席
 - (2)第11回 教育委員会の日程
 - ・とき 2025年11月28日(金)
 - ・ところ 木古内町中央公民館
-

8. 閉 会

署名委員 工藤 翠美